

令和4（2022）年度 入学者選抜要項

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、入学者選抜要項・募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

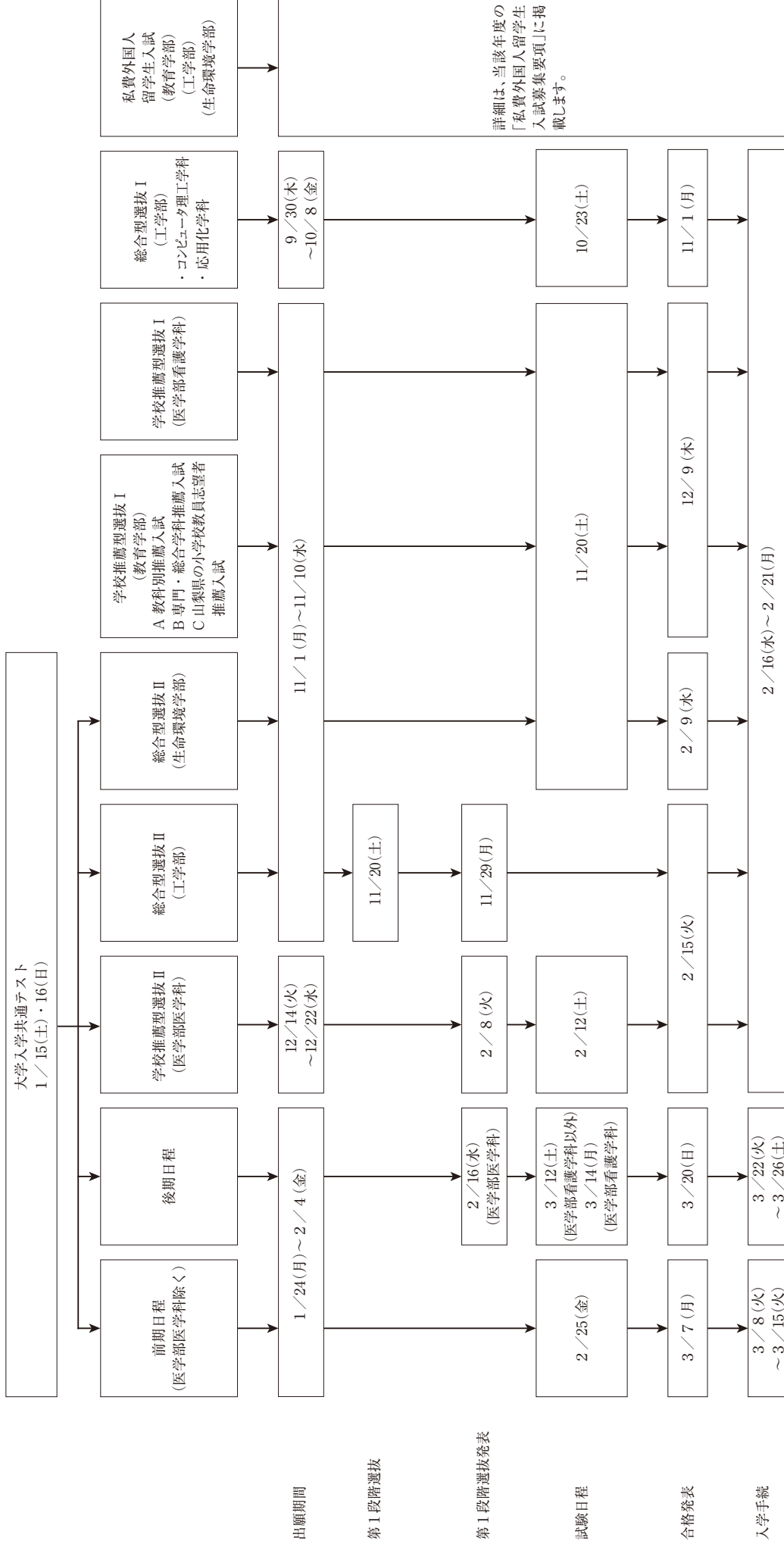
山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

山梨大学入学選抜方法の概要

一般選抜

学校推薦型選抜・総合型選抜等



・医学部医学科の一般選抜は、後期日程のみ実施します。

・一般選抜の第1段階選抜は、医学部医学科のみ実施します。

・入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。

・工学部の一般選抜 (前期日程) については、東京試験場及び名古屋試験場でも実施します。詳細は、「一般選抜学生募集要項」を参照してください。
 ※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、工学部の一般選抜 (前期日程) における東京試験場及び名古屋試験場での実施を中止することがあります。その場合は本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) にてお知らせしますので随時確認してください。

令和4年度入学者選抜における 新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験生への対応について

【新型コロナウイルス感染症等に罹患した受験生を対象とする追試験日の設定】

新型コロナウイルス感染症等に罹患した受験生の受験機会の確保への配慮として、令和3年度に実施する「令和4年度入学者選抜」において、特例措置として、本学の「一般選抜（前期・後期）」、「総合型選抜（Ⅰ、Ⅱ）」、「学校推薦型選抜（Ⅰ、Ⅱ）」、「私費外国人留学生入試」において、追試験を行います。

追試験は、以下の①～②のいずれかに該当する受験生を対象に、本学が指定する期日までに「追試験願」を提出し、本学において事由等を確認し、追試験を認めた受験生に対して実施します。

- ①「新型コロナウイルス感染症」に罹患し、本試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方又は本試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方、もしくは海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の方
- ②発熱・咳等の症状があり、本試験当日の自己検温で37.5度以上の熱があり、医療機関を受診し診断書等を提出できる方

追試験に係る日程、実施方法等の詳細は、決定次第速やかにホームページ若しくは募集要項等で公表します。

なお、追試験の追試験及び再試験はありません。

Web 出願利用ガイド	4
山梨大学の入学者選抜方針（アドミッションポリシー）	5
生命環境学部のコース新設と募集人員変更について	28
医学部医学科入学定員の変更予定について	28
I 入学定員（募集人員）	29
II 出願資格	30
III 入学者選抜方法	
1 教科・科目の表記について	31
2 一般選抜（個別学力検査等）の概要	32
3 学校推薦型選抜・総合型選抜の概要	34
(1) 教育学部『学校推薦型選抜Ⅰ』	35
(2) 医学部『学校推薦型選抜Ⅰ』、『学校推薦型選抜Ⅱ』	36
(3) 工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』	37
(4) 生命環境学部『総合型選抜Ⅱ』	39
4 一般選抜等（入学者選抜の実施教科・科目等）	40
5 『学校推薦型選抜』、『総合型選抜』の選抜方法等	
(1) 教育学部	51
(2) 医学部	55
(3) 工学部	58
(4) 生命環境学部	62
6 私費外国人留学生入試	65
IV 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	66
V 募集要項の公表方法と時期	66
VI 入試情報サイト	66
VII 「大学案内」等の請求方法	67

Web出願利用ガイド

出願期間内に、「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「提出が必要な出願書類」のすべてを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は、出願の受付をすることができませんので、注意してください。

STEP 1

Web出願の事前準備

①インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットなど

OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビシステム社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。

②利用可能なメールアドレス

パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

④事前に準備できる出願書類

「成績証明書・卒業見込証明書」や「学校長推薦書」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身学校等に申請手続きをしてください。「多面的・総合的な評価のための申告書」などの様式は、出願期間前から本学ホームページより取得可能です。

⑤市販の角形2号封筒・郵便切手*

封筒は出願書類の送付に必要です。郵便切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。

*切手の代金は入試区分によって異なりますので、各募集要項で確認してください。

⑥顔写真

3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4:横3(縦800ピクセル×横600ピクセル推奨)、JPEG形式の写真を用意してください。



【適切な顔写真の例】

STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLより30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 ※出願期間中のみ登録できます。

画面の案内に従って出願情報(入試区分、志望学科等、受験科目、写真など)を登録してください。



山梨大学入試
Web出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp/>

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキングのいずれかの支払方法を選択し、入学検定料をお支払いください。クレジットカード以外の支払い方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出(出願期間内必着)

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。各自で用意した角形2号封筒に「封筒貼付票」を貼り、「出願書類等チェックリスト」(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、山梨大学入試課に提出してください。

*出願書類の提出方法は各募集要項を確認してください。

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ

山梨大学 教学支援部入試課

☎055-220-8046 ✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

山梨大学の入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

本学のアドミッションポリシーは、まず、山梨大学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、**育成目標**は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。**入学者に求める資質能力・人物像**には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。**試験区分別の入学者選抜の基本方針**は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。

なお、**入学前に学習しておくことが期待される内容**も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

《理念・目的》

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

《キャッチフレーズ》

地域の中核、世界の人材

《教育目標》

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

《求める人物像》

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人を求めます。

《入学者に求める資質能力*》

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

*ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法の間精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

【教育学部】

《理念・目的》

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

《育成目標【豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指しています。

そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

《求める資質・能力・人物像》

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- ・子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- ・自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

《入学前に学習しておくことが期待される内容》

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- ・国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- ・地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- ・数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- ・理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- ・外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- ・情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- ・家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- ・音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- ・美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- ・保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

《各コースの育成目標と求める能力・人物像》

○幼小発達教育コース

〈育成目標と求める能力・人物像〉

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、特に就学前から小学校段階の子どもの発達と教育についての深い識見を持つだけでなく、子どもとともに、また他者とともに学びながら、今日的な教育課題の解決に挑戦していける教員の養成を目指しています。心理学、教育学そして幼児教育学などに強い関心があり、幼稚園や小学校の教員などをを目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力検査では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、幼児教育や児童・生徒の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○障害児教育コース

〈育成目標と求める能力・人物像〉

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的スキルを駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。

子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力検査では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○言語教育コース

〈育成目標と求める能力・人物像〉

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。

「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力検査では国語と英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは国語、地歴または公民、外国語の3教科を課し、基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料とし

て活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。なお、国語教育系の志望者に英語教育について質問したり、英語教育系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○生活社会教育コース

〈育成目標と求める能力・人物像〉

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。

「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは5～6教科、個別学力検査では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を志望する系（社会科教育系・家政教育系）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文は、社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（専門・総合学科推薦入試）

家政教育系で行う本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、家庭生活と教育に関わる論題を出題し、家政教育系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。

面接では、家政教育系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性を評価します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○科学教育コース

〈育成目標と求める能力・人物像〉

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。

「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。

「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員を目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは5教科、個別学力検査では数学と理科を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学んだ

いことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは5教科を課し、基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を志望する系（数学教育系・理科教育系・技術教育系）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、科学（数学または理科または技術）と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科（数学または理科または技術）に関する資質・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（専門・総合学科推薦入試）

技術教育系で行う本選抜では、口頭試問を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、口頭試問の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

口頭試問では、コース・技術教育系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（「英語」、「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含みます。）を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○芸術身体教育コース

〈育成目標と求める能力・人物像〉

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化や心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。

「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。

「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学者選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと実技検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確で

あるか等を評価します。

大学入学共通テストは6教科、実技検査は音楽実技、美術実技、体育実技の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、基礎的な知識・技能を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと実技検査、面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

実技検査は、音楽実技、美術実技、体育実技の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、基礎的な知識・技能を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、実技検査と面接を志望する系（音楽教育系・美術教育系・保健体育系）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書」（保健体育系の志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

実技検査は、志望する系ごとに音楽実技、美術実技、体育実技を課し、志望する系での学習の前提となる知識・技能を評価します。

面接では、志望する系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験、実技検査及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

学校教育課程：学校推薦型選抜Ⅰ（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）の基本方針

この選抜は、山梨県の小学校教員を志望する受験生を対象に、学校教育課程で募集人員を定めて実施するものです。本選抜で合格した後は、入学前教育において各コース等の説明を行い、本人の希望を聞いた上で、入学前にいずれかのコースに所属することとなります。入学後は、「山梨県の小学校教員養成特別教育プログラム」に参加します。

〈育成目標と求める能力・人物像〉

山梨県の教育指針や教育事情を広い視野をもって学び、現代的教育課題の解決に向けて主体的に取り組み、実践的な教育力とグローバル化に対応した能力を兼ね備えた山梨県の小学校教員の養成を目指します。そのため、小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭免許状、もしくは特別支援学校教諭免許状を取得します。

カリキュラムの特徴として、全学共通教育科目（一般教養科目）や学部専門科目を学ぶことに加えて、1年次では附属小学校における教育現場の実地体験、2年次では学校教育分野におけるICT活用について学びます。さらに、3年次からは小学校教育の現代的課題に関する科目、山梨の地域素材や教育事

情といった地域に根差した科目を通じて学びを深めます。

このことから、児童の心身の発達やそれを支える山梨県の教育に強い関心があり、山梨県の小学校教員を目指す学生を求めています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

学校推薦型選抜Ⅰ（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや山梨県の小学校教員を志望する意思と展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、「山梨県小学校教員養成特別教育プログラム」での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

【医学部】

《理念・目的》

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。

《育成目標【国民の健康を支える医療人の育成】》

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指します。

《求める資質・能力・人物像》

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- ・単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

○医学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

医学科では、幅広い知識と高度な技術の獲得とともに、人格の滋養にも重点を置いた教育プログラムを実施し、21世紀の医療を担う優れた医師及び医学研究者の養成を目指しています。国民の健康を支える医学・医療に将来、携わることへの強い意志と深い関心を持ち、総合的理解力、論理的思考力、問題解決能力を備え、他者とのコミュニケーション及び自己表現に優れるとともに、自己啓発のために生涯にわたって学ぶことを継続する意欲を持つ人を求めています。

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

医学部で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科科目として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを期待しています。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

〈試験区分別の入学者選抜の基本方針〉

一般選抜（後期）

本選抜では、出願書類に加え第1段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを判断します。最終選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績ならびに個別学力検査から総合的に行います。

なお、第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により実施し、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を実施しません。

学校推薦型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類に加え、将来本学を含む山梨県内での医療活動に従事する意欲の有無やその理由も合否判定の材料とします。また第1段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。さらに、「調査書」など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいこと具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。

なお第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により実施し、募集人員の約1.5倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の1.5倍を超えない場合は、第1段階選抜を実施しません。

○看護学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

看護学科は、生命の尊厳を基本とし、看護の倫理性を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ看護専門職及び看護学研究者の育成を目的としています。そのため看護学科では、人間への深い関心と優れたコミュニケーション能力を備え、多様な健康問題を科学的に判断し解決できる能力を有し、保健・医療・福祉に貢献するために継続的に努力できる人材を求めています。

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

〈試験区分別の入学者選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、出願書類に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。これらの選考により、将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを判断します。

選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績ならびに小論文から総合的に行います。

一般選抜（後期）

本選抜では、出願書類に加え、受験者全員に面接を2回課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願資料のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいこと具体性、将来展望の明確

性などを測る目的で、主に面接時の資料として活用します。これらの選考により、将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを判断します。

選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績から総合的に行います。

学校推薦型選抜 I

本選抜では、出願書類に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいこと具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選抜により将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。

選抜は以上の結果に、小論文によるバランスのとれた判断力、論理的構想力、表現力等の評価を加え総合的に行います。

【工学部】

《理念・目的》

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

《育成目標【未来世代を思いやるエンジニアリング教育】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材の養成を目指しています。

《求める資質・能力・人物像》

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- ・ 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- ・ 各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- ・ 学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- ・ 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- ・ 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- ・ 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・ 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

○機械工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。

そのために次のような人を求めています。

- ・ 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- ・ 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- ・ 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人

- ・独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価します。これらの出願書類は面接用事前レポートと同様に面接の際の基礎資料として用います。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

○メカトロニクス工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
- ・数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。またメカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、主に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」については、アドミッションポリシーで示した育成目標に必要な能力・資質を判断し、「志願者評価書」における学力の3要素も加味して総合的に判断します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

○電気電子工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- ・数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視しま

す。

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の際の資料としても用います。小論文と面接では、数学と物理の基礎学力、論理的な説明力を評価します。学力評価として、大学入学共通テスト（4教科6科目）を課します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

○コンピュータ理工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人

・数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅰ

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」では、基礎的な学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。「志願者評価書」では、本学アドミッションポリシーに示される能力及び人物としての特性を備えているかを総合的に判断します。「調査書」や「多面的・総合的な評価のための申告書」は面接の際の資料としても用います。小論文には数学、理科（物理）、外国語（英語）の基礎学力を問う設問を含み、学力評価を行います。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、基礎的な学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、大学入学共通テスト（教科・科目数は型により異なる）を課します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び数学・理科の基礎学力を評価します。また、TOEFL 又は TOEIC の成績から、英語の基礎学力を評価します。

これらと出身学校長が発行した成績証明書を総合して判定し、合格者を決定します。

○土木環境工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、以下のような人を求めています。

- ・自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- ・防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が多い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第1段階選抜を実施し、最終選抜には第1段階選抜の成績に加え大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録において、バランスの良い基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項において、学科への関連の内容の記載を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を確認するための参考資料として利用し、「志願者評価書」はこれを補完するものとして活用します。これら出願書類は面接の資料としても用います。小論文は講義を受講し、その内容について設問に解答する方式で実施します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学

力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

○応用化学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- ・化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅰ

本選抜では、面接及び化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問を課します。

「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。面接では、目的意識、勉学意欲、論理的思考力などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に対する強い興味と特に化学を専攻する希望を持つかを評価します。学力評価として、化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問により、化学に関する基礎知識ならびに化学実験に関する知識・技能や興味を評価します。

（注）化学グランプリ2020及び2021の成績は利用できません。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、「調査書」と面接により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストと「多

面的・総合的な評価のための申告書」を用います。

「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に関する知識と技術を生かして社会に貢献しようとする意欲を持ち、本学科の教育課程を履修できる学習習慣を備えるかを評価します。学力評価として大学入学共通テスト（3教科5科目のうち「化学」ほか2科目）を課します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験の成績に加え、面接を課すことで、本学科での学修に必要な日本語力及び数学・理科（物理・化学）の基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績から基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

○先端材料理工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材の育成を目指しています。そのため次のような人を求めています。

- ・物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
- ・数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

〈試験区分別の入学者選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課します。

一般選抜（後期）

本選抜では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

「調査書」では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等々を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課します。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第1段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」では、高校での学習状況と面接等の結果の整合性を確認します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、学習意欲等の学力試験によって測ることができない能力や態度を評価し、「志願評価書」でその内容との整合性および本学進学に対する意志を確認します。学力評価として大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すことに加え、数学・物理・化学・英語に関する課題が与えられ小論文と面接発表資料を作成し、面接発表（プレゼンテーションと質疑応答）による評価を行います。面接発表では志望動機・学習意欲及び適性等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

本選抜では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。

これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理・化学）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

【生命環境学部】

《理念・目的》

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

《育成目標【自然と社会の共生科学の創生】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。

そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

《求める資質・能力・人物像》

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- ・高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- ・自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- ・社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- ・文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- ・グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- ・実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- ・教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

○生命工学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること

- ・論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- ・入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで5教科7科目において基礎学力を評価します。

「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。

「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているかを総合的に評価します。

面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○地域食物科学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学、等）を十分に理解できていること
- ・自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- ・食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- ・本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科学科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで5教科7科目において基礎学力を評価します。

「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。

「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているかを総合的に評価します。

面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○環境科学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気や生態系に関する専門知識を学ぶことによって、自然環境と共生する持続可能な社会の創生に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・ 自然環境の成り立ちを理解するために必要な理科（物理、化学、生物、地学）の基礎学力を備えていること
- ・ 論理的な思考を行う上で必要な数学の基礎学力を備えていること
- ・ 他者とのコミュニケーションや自身の考えを的確に伝えるために必要な国語や外国語の素養を有していること
- ・ 環境問題を解決するために不可欠な社会系科目（地理歴史や公民）に対する理解があること
- ・ 自然と人間社会との共生に強い関心があり、本学科で学んだことを活かして持続可能な社会の創生に貢献

したいという意欲があること

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで5教科7科目において基礎学力を評価します。

「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。

「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているかを総合的に評価します。

面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

○地域社会システム学科

〈育成目標と求める能力・人物像〉

経済・経営・行政に強い関心を持ち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- ・ 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- ・ さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- ・ 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

〈入学前に学習しておくことが期待される内容〉

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

〈試験区分別の入学者選抜の基本方針〉

一般選抜（前期）

本選抜では、大学入学共通テストと小論文を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

小論文では総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

「調査書」の記載内容を選抜資料として活用し、アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価します。

一般選抜（後期）

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、アドミッションポリシーの理解度、入学後の教育研究に対する意欲や適性等を評価します（口頭試問を課す場合があります）。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、大学入学共通テストと面接を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているか、アドミッションポリシーの理解度、入学後の教育研究に対する意欲や適性等を総合的に評価します（口頭試問を課す場合があります）。

「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。

私費外国人留学生入試

本選抜では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

生命環境学部のコース新設と募集人員変更について

山梨大学では令和4年4月から、生命環境学部生命工学科にバイオ・メディカルデータサイエンス特別コースを新設する予定です。それに伴い、生命工学科の募集人員が変更となる予定ですが、詳細は正式決定後の発表になりますので、一般選抜募集要項や大学ホームページで確認してください。なお、教育学部学校教育課程の募集人員も変更する予定です。

医学部医学科入学定員の変更予定について

医学部医学科の令和4年度以降の入学定員は、「新医師確保総合対策」、「緊急医師確保対策」及び「経済財政改革の基本方針2009」に基づいた暫定的な医学科定員増が令和3年度で終了することに伴い、20名減の105名となります。

本学では、令和4年度についてもこれまでと同様の入学定員になるよう「新医師確保総合対策」、「緊急医師確保対策」及び「経済財政改革の基本方針2009」に基づいた暫定的な医学科定員増（20名）の延長申請を予定しております。定員増が承認された場合は、改めて入学定員の変更について本学ホームページ上で公表しますので、医学部医学科への出願を予定している方は必ず確認してください。

現状

(令和4年度)

学部名	学科名	入学定員	試験区分	募集人員
医学部	医学科	105名	推薦	15
			後期	90

⇒

申請し承認された場合

(令和4年度)

学部名	学科名	入学定員	試験区分	募集人員
医学部	医学科	125名	推薦	35
			後期	90

I 入学定員（募集人員）

令和4（2022）年度入学者選抜				一般選抜		学校推薦型選抜・総合型選抜							私費外国人留学生入試	総募集人員
学部	課程・学科・コース名	入学定員	前期	後期	①推薦型 I	②推薦型 I (A)	③推薦型 I (B)	④推薦型 I (C)	⑤推薦型 II	⑥総合型 I	⑦総合型 II			
					教育学部	学校教育課程		125						
幼小発達教育コース		12	4			2								
障害児教育コース		10	4			4								
言語教育コース	国語教育系	7	2			2								
	英語教育系			2										
生活社会教育コース	社会科教育系	11	3			2								
	家政教育系			3		1								
科学教育コース	数学教育系	14	4			2								
	理科教育系			2										
	技術教育系			3	1									
芸術身体教育コース	音楽教育系	6	4		2									
	美術教育系			2										
	保健体育系			4										
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム							12							12
計		125	60	21	0	30	2	12	0	0	0		125	
医学部	医学科		105		90				15人以内					105
	看護学科		60	30	5	25								60
	計		165	30	95	25	0	0	0	15人以内	0	0		165
工学部	機械工学科		55	33	5							17	若干人	55
	メカトロニクス工学科		55	33	5							17		55
	電気電子工学科		55	33	5							17		55
	コンピュータ理工学科		55	30	5						8	12		55
	土木環境工学科		55	33	5							17		55
	応用化学科		55	26	5						12	12		55
	先端材料理工学科		35	19	5							11		35
	計		365	207	35	0	0	0	0	0	20	103		365
生命環境学部	生命工学科		35	27	5							3	若干人	35
	地域食物科学科		37	30	5							2		37
	環境科学科		30	22	5							3		30
	地域社会システム学科		48	40	5							3		48
	観光政策科学特別コース		(13)	(13)										
	計		150	119	20	0	0	0	0	0	0	11		150
合計		805	416	171	25	30	2	12	15人以内	20	114	805		

- ・各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- ・教育学部の推薦型 I は、(A) 教科別推薦入試、(B) 専門・総合学科推薦入試、(C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の 3 つに区分して実施します。
- ・医学科の入学定員及び募集人員は、認可申請予定であり、変更の可能性があります。承認された場合は、入学定員について改めて本学ホームページ上で公表しますので、出願を予定している方は必ず確認して下さい。
- ・生命環境学部の特別コースの（ ）内の人員は、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれます。
- ・生命環境学部生命工学科バイオ・メディカルデータサイエンス特別コース新設に伴う、生命工学科及び教育学部学校教育課程の入学定員は現在要望中です。要望の結果、入学定員及び募集人員は変更される場合があります。

Ⅱ 出願資格

本学に出願できる方は、次の号のいずれかに該当し、令和4年度大学入学共通テストのうち、本学が指定した教科・科目を受験した方とします。ただし、学校推薦型選抜及び総合型選抜、私費外国人留学生入試については、別の出願資格（51ページ～65ページ）によります。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した方及び令和4年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方及び令和4年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方のうち次の各項目のいずれかに該当する方及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの方
 - (ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準じる方で文部科学大臣が指定した方
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
 - (ウ) 専修学校の高等教育課程（修業年限が3年以上であることとその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方
 - (エ) 文部科学大臣が指定した方
 - (オ) 高等学校卒業認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業認定試験に合格した方で、令和4年3月31日までに18歳に達する方（旧検定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
 - (カ) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、令和4年3月31日までに18歳に達している方

上記（カ）の個別の入学資格審査については、下記のとおりです。

① 申請対象者

令和4年度大学入学共通テストを受験予定及び受験した方で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する方又は有する見込みの方

② 申請受付期間

- ・大学入学共通テスト出願前に入学資格審査を希望する方
令和3年8月16日（月）～20日（金） 必着
- ・大学入学共通テスト出願後に入学資格審査を希望する方
令和4年1月17日（月）～18日（火） 必着

③ 申請手続等の照会先

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

Ⅲ 入学者選抜方法

1 教科・科目の表記について

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史 A	世 A
		世界史 B	世 B
		日本史 A	日 A
		日本史 B	日 B
		地理 A	地理 A
		地理 B	地理 B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫・政経
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I・数学 A	数 I・数 A
		数学 II	数 II
		数学 II・数学 B	数 II・数 B
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情報
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

個別学力検査の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B
数学	数	数学 I	数 I
		数学 II	数 II
		数学 III	数 III
		数学 A	数 A
		数学 B	数 B
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
外国語	外	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語 I・ コミュニケーション英語 II・ コミュニケーション英語 III・ 英語表現 I・英語表現 II・ 英語会話	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語 I・ コミュニケーション英語 II・ コミュニケーション英語 III・ 英語表現 I・英語表現 II・ 英語会話

2 一般選抜（個別学力検査等）の概要

(1) 前期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等		個別学力検査等						備考 (欠員補充の方法等)
		個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜			
			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率	その他	
教育学部 学校教育課程	幼小発達教育コース	○	×	○ 注4	×	×	×	×	×	
	障害児教育コース									
	言語教育コース									
	生活社会教育コース									
	科学教育コース									
	芸術身体教育コース	×	○	○ 注4	×	×	×	×	×	
医学部 看護学科	×	×	○	○	×	×	×	×	×	
工学部	機械工学科	○ 注5	×	×	×	×	×	×	×	
	メカトロニクス工学科									
	電気電子工学科									
	コンピュータ理工学科									
	土木環境工学科									
	応用化学科									
先端材料理工学科										
生命環境学部	生命工学科	×	×	×	○	×	×	×	×	
	地域食物科学科注6									
	環境科学科									
	地域社会システム学科注7									

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。
 2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。
 3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。
 4 教育学部の前期日程における面接は、集団面接とします。
 5 工学部の前期日程では、個別学力検査において受験する教科・科目に応じて、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。
 6 生命環境学部地域食物科学科は、ワイン科学特別コースを含みます。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。
 7 生命環境学部地域社会システム学科は、観光政策科学特別コースを含みます。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。

『提出を要する書類』

学部・学科	(前期日程) 提出を要する書類		
	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	活動実績報告書
教育学部	○	○	○ (芸術身体教育コースの体育実技を選択する方のみ)
医学部 看護学科	○	×	×
工学部	○	×	×
生命環境学部	○	×	×

(2) 後期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等	個別学力検査等							備考 (欠員補充の方法等)
			個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜		
				実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階選抜による合格者数 定員に対する倍率	
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース								
		障害児教育コース								
		言語教育コース	×	×	○	×	×	×	×	×
		生活社会教育コース								
		科学教育コース								
		芸術身体教育コース	×	○	○	×	×			
医学部	医学科	○	×	○	×	×	○	約10倍	×	
	看護学科	×	×	○	×	×	×	×	×	
工学部	機械工学科									
	メカトロニクス工学科									
	電気電子工学科									
	コンピュータ理工学科	×	×	○ (注)4	×	×	×	×	×	
	土木環境工学科									
	応用化学科									
生命環境学部	生命工学科									
	地域食物科学科	×	×	○	×	×	×	×	×	
	環境科学科									
	地域社会システム学科									

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。
 2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。
 3 本学の前期日程の学部・学科(課程・コース)と後期日程の学部・学科(課程・コース)との併願は可能です。
 4 工学部の後期日程では、全学科の間で、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。

『提出を要する書類』

学部・学科	(後期日程) 提出を要する書類		
	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	活動実績報告書
教育学部	○	○	○ (芸術身体教育コースの体育実技を選択する方のみ)
医学部	医学科	×	×
	看護学科	○	×
工学部	○	○	×
生命環境学部	○	○	×

3 学校推薦型選抜・総合型選抜の概要

選抜方法等 学部・課程・学科・コース等名		学校推薦型選抜Ⅰ						学校推薦型選抜Ⅱ						備考
		大学入学共通テスト	実技検査等					大学入学共通テスト	実技検査等					
			実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他		実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他	
教育学部	幼小発達教育コース	×	×	○	○	×	×	p.51-54参照						
	障害児教育コース	×	×	○	○	×	×							
	言語教育コース	国語教育系	×	×	○	○	×							×
		英語教育系	×	×	○	○	×							×
	生活社会教育コース	社会科教育系	×	×	○	○	×							×
		家政教育系	×	×	○	○	×							×
	科学教育コース	数学教育系	×	×	○	○	×							×
		理科教育系	×	×	○	○	×							×
		技術教育系	×	×	△(注)3	△(注)3	△(注)3							×
	芸術身体教育コース	音楽教育系	×	○	○	×	×							×
美術教育系		×	○	○	×	×	×							
保健教育系		×	○(注)4	○	×	×	×							
	山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	×	×	○	○	×	×							
医学部	医学科	p.55-57参照						○	×	○	×	×	×	
	看護学科							×	×	○	○	×	×	

選抜方法等 学部・課程・学科・コース名		総合型選抜Ⅰ						総合型選抜Ⅱ						備考
		大学入学共通テスト	実技検査等					大学入学共通テスト	実技検査等					
			実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他		実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他	
工学部	機械工学科	p.58-61参照						○	×	○	×	×	×	
	メカトロニクス工学科							○	×	○	○	×	×	
	電気電子工学科							○	×	○	○	×	×	
	コンピュータ理工学科							×	×	○	○	×	×	
	土木環境工学科							○	×	○	○	×	×	
	応用化学科							×	○	○	×	○	○(注)5	
	先端材料理工学科							○	×	○	○	×	○(注)5	
生命環境学部	生命工学科	p.62-64参照						○	×	○	×	×	×	
	地域食物科学科							○	×	○	×	×	×	
	環境科学科							○	×	○	×	×	×	
	地域社会システム学科							○	×	○	×	×	×	

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。
 2 ×印は、当該検査等を課さないことを示します。
 3 △印は、教科別推薦入試においては面接と小論文を課し、専門・総合学科推薦入試においては口頭試問を課します。
 4 保健体育系は、活動実績報告書とその証明書類の提出をもって実技検査とします。
 5 37ページ (3) 工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』の『提出書類・選抜方法等』を参照してください。

(1) 教育学部『学校推薦型選抜Ⅰ』

教育学部では、一般選抜以外の選抜方法として、「学校推薦型選抜Ⅰ」を以下のとおり実施します。学力評価として大学入学共通テストを課さず、下に示す表のような大学独自の学力評価を実施します。

『提出書類・選抜方法等』

	教育学部		
	学校推薦型選抜Ⅰ		
	A 教科別推薦入試	B 専門・総合学科推薦入試	C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試
調査書	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○
学校長推薦書	○	○	○
活動実績報告書	○ (芸術身体教育コース 保健体育系)	×	×
小論文	○ (芸術身体教育コース以外)	○ (生活社会教育コース 家政教育系)	○
実技検査	○ (芸術身体教育コース)	×	×
口頭試問	×	○ (科学教育コース 技術教育系)	×
面接	○	○ (生活社会教育コース 家政教育系)	○

(A) 学校推薦型選抜Ⅰ 教科別推薦入試

幼小発達教育コースと障害児教育コースではコースごとに募集し、その他のコースでは教科ごとに募集を行います。

『募集人員等』

課程・コース名		募集人員	対象となる高等学校の範囲	
学校教育課程	幼小発達教育コース	2人	全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)	
	障害児教育コース	4人		
	言語教育コース	国語教育系		2人
		英語教育系		2人
	生活社会教育コース	社会科教育系		2人
		家政教育系		3人
	科学教育コース	数学教育系		2人
		理科教育系		2人
		技術教育系		3人
	芸術身体教育コース	音楽教育系		2人
美術教育系		2人		
	保健体育系	4人		

(B) 学校推薦型選抜Ⅰ 専門・総合学科推薦入試

生活社会教育コースの家政教育系と科学教育コースの技術教育系で募集を行います。専門学科及び総合学科を卒業する方を対象とした推薦入試です。

『募集人員等』

課程・コース名		募集人員	対象となる高等学校・志願者の範囲
学校教育課程	生活社会教育コース 家政教育系	1人	全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)の家庭に関連する学科等、又は全国の国公立高等学校の総合学科において家庭に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方
	科学教育コース 技術教育系	1人	全国の国公立高等学校の農業、工業、情報に関連する学科、又は全国の国公立高等学校の総合学科において農業、工業、情報に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方

(C) 学校推薦型選抜Ⅰ 山梨県の小学校教員志望者推薦入試

山梨県の小学校教員を志望する方を対象とした入試です。小学校教諭一種免許状とともに中学校教諭免許状または特別支援学校教諭免許状も取得することになります。山梨県の小学校教員としての素養を持った教員の養成を目的とした推薦入試です。

『募集人員等』

課程・コース等名	募集人員	対象となる高等学校の範囲
学校教育課程山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	12人	全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)

(2) 医学部『学校推薦型選抜Ⅰ』、『学校推薦型選抜Ⅱ』

『提出書類・選抜方法等』

	医学部	
	医学科	看護学科
	学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅰ
調査書	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○
学校長推薦書	○	○
誓約書	○	×
大学入学共通テスト	○	×
小論文	×	○
面接	○	○

『募集人員等』

学科名	募集人員		種別	対象となる高等学校の範囲
	学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅰ		
医学科	15人以内		地域枠	山梨県内の公立私立高等学校
看護学科		25人		全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)

(注) 医学科の学校推薦型選抜Ⅱは、第1段階選抜及び最終選抜により行います。
 医学科の募集人員は、変更されることがあります。

『学校推薦型選抜Ⅱ(医学科)に課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』

学科	教科	科目数	科目の指定
医学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世B、日B、地B、倫・政経の4科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B
	理	2	物、化、生の3科目のうちから2科目選択
	外	1	英

(3) 工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』

『提出書類・選抜方法等』

学科	総合型選抜Ⅰ				総合型選抜Ⅱ				
	コンピュータ理工学科	応用化学科	機械工学科	メカトロニクス工学科	電気電子工学科	コンピュータ理工学科	土木環境工学科	応用化学科	先端材料理工学科
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志願者評価書	○	×	×	○	×	×	○	×	○
面接用事前レポート	×	×	○	×	×	×	×	×	×
大学入学共通テスト	×	×	○	○	○	○	○	○	○
小論文	○(注1)	×	×	○	○	×	○	×	○
実技	×	化学実験に関する試問	×	×	×	×	×	×	×
その他		a 化学に関する口頭試問 b 化学グランプリの一次選考の成績(注2) 二つの評価方法のどちらか1又は両方を出願時に選択する				共通テストの得点に合格最低基準を設ける		共通テストの化学の得点が大学入試センターより発表される平均点以上であること	共通テストの得点に合格最低基準を設ける
面接	○	○	○	○	○	×	○	○	○
(口頭試問を含む)	×	選択	×	×	×	×	×	×	×

(注1) 数学・理科・外国語の素養に関する内容を含む

(注2) 化学グランプリ2020および2021の一次選考の成績は本人確認が充分行えていないため利用できません。

『募集人員等』

学科名	募集人員		対象となる高等学校の範囲
	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	
機械工学科		17人	全国の国公私立高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)
メカトロニクス工学科		17人	
電気電子工学科		17人	
コンピュータ理工学科	8人	12人	
土木環境工学科		17人	
応用化学科	12人	12人	
先端材料理工学科		11人	

『総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』

学科	教科	科目数	科目の指定
機械工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英

学科	教科	科目数	科目の指定
メカトロニクス工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

学科	教科	科目数	科目の指定
電気電子工学科	国	1	国
	地歴 公民	—	—
	数	2	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B
	理	2	物、化
	外	1	英

学科	教科	科目数	科目の指定
土木環境工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

学科	教科	科目数	科目の指定
応用化学科	国	—	—
	地歴 公民	—	—
	理	1	化
		2	物
	数	2※	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B
	外	—	英

※「数学Ⅰ・数学 A」、「数学Ⅱ・数学 B」、「物理」、「英語」の4科目から、受験した科目のうち得点の高い2科目を大学側で採用します（志願者の選択は要しません）。

学科	教科	科目数	科目の指定
先端材料理工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

コンピュータ理工学科については、以下に示す4つの型のうち少なくとも1つの型に合致する科目を受験する必要があります。※型は受験した科目により大学が判定します（志願者の選択は要しません）。複数の型として判定されることもありえます。

《数学重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	—	—
	地歴 公民	—	—
	数	2	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B
	理	—	—
	外	—	—

《理科重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	—	—
	地歴 公民	—	—
	数	—	—
	理	2	物、化、生のうちから2科目
	外	—	—

《英数理バランス型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ 理工学科	国	—	—
	地歴	—	—
	公民	—	—
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化、生のうちから2科目
外	1	英	

《言語力重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ 理工学科	国	1	国
	地歴	—	—
	公民	—	—
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	—	—
外	1	英	

(4) 生命環境学部『総合型選抜Ⅱ』

『提出書類・選抜方法等』

	総合型選抜Ⅱ			
	生命工学科	地域食物科学科	環境科学科	地域社会システム学科
調査書	○	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○	○
志願者評価書	○	○	○	○
大学入学共通テスト	○	○	○	○
面接	○	○	○	○

『募集人員等』

学科名	募集人員	対象となる高等学校の範囲
生命工学科	3人	全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
地域食物科学科	2人	
環境科学科	3人	
地域社会システム学科	3人	

『総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』

学科	教科	科目数	科目の指定
生命工学科 地域食物科学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択
	理	2	物、化、生の3科目のうちから2科目選択
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択
環境科学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択
	理	2	物、化、生、地の4科目のうちから2科目選択
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択
地域社会システム学科	国	1	国
	地歴 公民	2	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択
	理	3教科から 2科目選択	物、化、生、地、基礎を付した科目から1又は2科目選択 ただし基礎を付した科目とは、物基、化基、生基、地基であり2科目で1科目とみなす
	数	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

※地域社会システム学科においては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。

4 一般選抜等（入学選抜の実施教科・科目等）

(1) 教育学部

学部・学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計		
教育学部	前期	国 地歴 公民 数	1 1 1 2	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社, 倫, 政経, 倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報の3科目のうちから1科目選択 1又は2 物基, 化基, 生基, 地基の4科目のうちから2科目選択又は物, 化, 生, 地の4科目のうちから1科目選択 ①1(2)	外 その他	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・コ コミュニケーション英語Ⅱ・コ コミュニケーション英語Ⅲ・英語 表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200		600	
								1	100	100	100	100	100	100	100	100	200		400	
								計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	1000
	後期	国 地歴 公民 数	1 2 1又は2 ①1(2)	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社, 倫, 政経, 倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報の3科目のうちから1科目選択 1又は2 物基, 化基, 生基, 地基の4科目のうちから2科目選択又は物, 化, 生, 地の4科目のうちから1科目選択 英, 独, 仏, 中, 韓の5科目のうちから1科目選択 6教科のうちから「地歴」, 「公民」を含む3教科選択又は「地歴」, 「公民」を含む4教科選択③(2)	その他	面接	大学入学共通テスト	*200	*100	*100	*200	*200	*200	*200				600		
																		400		
								計	*200	*100	*100	*200	*200	*200	*200			400	1000	
教育学部	前期	国 地歴 公民 数	1 1 1 2	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社, 倫, 政経, 倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報の3科目のうちから1科目選択 1又は2 物基, 化基, 生基, 地基の4科目のうちから1科目選択 ①1(2)	外 その他	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・コ コミュニケーション英語Ⅱ・コ コミュニケーション英語Ⅲ・英語 表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	600	
								1	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	400
								計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	後期	国 地歴 公民 数	1 2 1又は2 ①1(2)	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社, 倫, 政経, 倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報の3科目のうちから1科目選択 1又は2 物基, 化基, 生基, 地基の4科目のうちから1科目選択 ①1(2)	外 その他	面接	大学入学共通テスト	*200	*100	*100	*200	*200	*200	*200				600		
																			200	
								計	*200	*100	*100	*200	*200	*200	*200			200	800	
教育学部	前期	国 地歴 公民 数	1 1 1 2	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社, 倫, 政経, 倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報の3科目のうちから1科目選択 1又は2 物基, 化基, 生基, 地基の4科目のうちから1科目選択 ①1(2)	外 その他	国語総合・国語表現・現代文 A・現代文B・古典A・古典B コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・コ コミュニケーション英語Ⅱ・コ コミュニケーション英語Ⅲ・英語 表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	600	
								1	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	200	600
								計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	後期	国 地歴 公民 数	1 1 1 2	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社, 倫, 政経, 倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報の3科目のうちから1科目選択 1又は2 物基, 化基, 生基, 地基の4科目のうちから1科目選択 ①1(2)	外 その他	面接	大学入学共通テスト	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	600	
								1	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
								計	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200

学部・学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						配点合計					
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語	小論文	実技	面接	
教育学部	前期	国 地歴 公民 数	1 又は2 1又は2 2 1又は3 又は3 (注1)(2)	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目又は2科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択 a 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択又は物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択 b 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択並びに物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択、又は物、化、生、地の4科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択 生活社会教育コース前期日程における科目選択の種類 ・地歴、公民から2科目並びに理科のaを選択 ・地歴、公民から1科目並びに理科のbを選択	外 その他	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接		大学入学共通テスト	100	* (200) * (100) (注3)(3)	100	* (100) * (200) (注3)(4)	100	* (100) * (200) (注3)(1)				600	
								個別学力検査等				200			200				
	計																	1000	
教育学部	後期	国 地歴 公民 数	1 又は2 1又は2 2 1又は3 又は3 (注1)(2)	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目又は2科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択 a 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択、又は物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択 b 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択並びに物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択、又は物、化、生、地の4科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択 生活社会教育コース後期日程における科目選択の種類 ・国、数、外の3教科を選択 ・国、数、外から2教科並びに地歴、公民から1科目並びに理科aを選択 ・国、数、外から2教科並びに理科bを選択 ・国、数、外から1教科並びに地歴、公民から2科目並びに理科bを選択	その他 面接		大学入学共通テスト	*200	* (200) * (100) (注3)(3)	*200	* (100) * (200) (注3)(4)		*200					600	
							個別学力検査等												
	計																	800	
科学教育学部	前期	国 地歴 公民 数	1 1又は2 2 2又は3 2科目選択	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目並びに物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択、又は物、化、生、地の4科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	教 理 その他	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B 物基・物、化基・化、生基・生 理科は1科目を選択 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	150	150	150	100	100	100	100	100	100	600
							個別学力検査等												
	計																	1200	
科学教育学部	後期	国 地歴 公民 数	1 1又は2 2 2又は3 2科目選択	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目並びに物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択、又は物、化、生、地の4科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他 面接		大学入学共通テスト	100	100	300	300	300	100	100	100	100	100	100	900
							個別学力検査等												
	計																	1100	

学部・学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計	
教育学部	前期	国	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅰ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択 数Ⅱ・数B、簿、地基の4科目のうちから2科目選択又は物、化、生、地 の4科目のうちから1科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	実技、集団面接		大学入学共通テスト	150	50	100	100	150	150				600
		地歴	1	地歴					150	50	100	100	150	150					
教育学部	後期	国	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択 数Ⅱ・数B、簿、地基の4科目のうちから2科目選択又は物、化、生、地 の4科目のうちから1科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	実技、面接		大学入学共通テスト	*200	*100	*200	*200	*200	*200				600
		地歴	1	地歴					*200	*100	*200	*200	*200	*200					
		理	1又は2	理	1又は2										400	200		600	
		外	1	外	1										400	200		1200	
		計		計														1200	

*印の教科については、選択教科を示します。

- (注) 1. 大学入学共通テストの利用教科・科目等
- 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目を選択した場合、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 - 大学入学共通テストの「物理、化学、生物、地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 - 科学教育コース以外のコースにおいては、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」と「物理、化学、生物、地学」の両方を受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
 - 生活社会教育コース前期日程においては、「地歴」、「公民」から1科目選択した場合は理科bを選択し、「地歴」、「公民」から2科目選択した場合は、理科aを選択し受検した場合の成績を示します。
 - 生活社会教育コース後期日程における科目選択の種類
 - 国、数、外 の3教科
 - 国、数、外 から2教科並びに地歴、公民から2科目
 - 国、数、外 から2教科並びに地歴、公民並びに理科a
 - 国、数、外 から2教科並びに理科b
 - 国、数、外 から1教科並びに地歴、公民から2科目並びに理科b
 - a-eの組み合わせのうち、合計が最も高い得点となるものをその成績とします。
 - 生活社会教育コースと科学教育コースにおいては、同一名称を含む「理科」2科目（例えば、物理基礎と物理、化学基礎と化学等）の選択を認めます。
2. 個別学力検査等
- 前期日程における個別学力検査等の数学I、数学II、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
 - 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。
 - 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
 - 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
 - 前期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

- 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等について
 - 大学入学共通テストの外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に併記した点数を利用します。
 - 幼小森選考教育コース、随想思教育コース、芸術身体教育コース後期日程においては、本学で指定した大学入学共通テストの受験科目の受験科目の組み合わせのうち、合計が最も高い得点となるものをその成績とします。
 - 生活社会教育コースにおける大学入学共通テストの「地歴」、「公民」欄の（ ）の上段は2科目受験した場合、下段は1科目受験した場合の配点を示します。
 - 生活社会教育コースにおける大学入学共通テストの「理科」欄の（ ）の上段は理科aを選択し受検した場合、下段は理科bを選択し受検した場合の配点を示します。
 - *印の教科については選択教科を示します。
- 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。
- 本学の令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

- 【入学試験に過去問題を使用することに関して】
- 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
 - 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
 - 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。 <http://www.ayushikakomon.jp>

(2) 医学部

学部・学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
医学部	後期	1 国 世B、日B、地理B、倫・政経の4科目のうちから1科目選択	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生の3科目 群のうちから2科目選択 面接	約10倍 P49「別 紙」参照	大学入学共通テスト	200	100	100	100	100	600			1100
	前期	2 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生の3科目のうちから2科目選択	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択、または物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択												
看護学科	後期	1 国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択	その他	小論文・面接		大学入学共通テスト	200	100	100	200	100	200			800
	前期	2 理 2又は1 外				個別学力検査等							200	200	400
						計	200	100	100	200	100	200	200	200	1200
						計	200	100	100	200	100	200			800
						計	200	100	100	200	100	200			400
						計	200	100	100	200	100	200	400	400	1200

(注) 医学部医学科においては、大学入学共通テストの成績と出願書類の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とし、第1段階選抜を行いません。詳細については、今後公表します。
 (注2) 看護学科の後期試験では個人面接を2回行います。

(注)

- 1 大学入学共通テストの利用教科・科目等
 - (1) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところで2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 - (2) 大学入学共通テストの「理科」のうちから1科目のところで2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 - (3) 大学入学共通テストの「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から3科目を受験した場合は、「理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点」又は「理科の「基礎を付していない科目」の得点のうち、いずれか得点の高い成績」とします。
- 2 個別学力検査等

数 学

- (1) 医学科の後期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- (2) 医学科の後期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

物 理

- (3) 医学科の後期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化 学

- (4) 医学科の後期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

生 物

- (5) 医学科の後期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

- 3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等
 - (1) 大学入学共通テストにおける英語リスニングの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計得点200点満点を、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算し、点数を利用します。

- (2) 医学科後期日程においては、面接の評価が合格に達しない人は大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の成績に問わず、不合格となります。
- (3) 看護学科前期日程においては、小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。
- (4) 看護学科後期日程においては、面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。また、面接は個人面接を2回行います。
- 4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

【本学の令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。】

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

- (1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することも、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp

(3) 工学部

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語小論文	実技	面接	配点 合計
機械工学科	前期	国 地歴 公民	1 1 2	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数I・数A、数II・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物		大学入学共通テスト	200		100	200	200	200 (注)3(1)			900
	後期				その他 面接		個別学力検査等		200		100	450	350	200			1300
メカトロニクス工学科	前期	国 地歴 公民	1 1 2	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数I・数A、数II・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物		大学入学共通テスト	200		100	200	200	200 (注)3(1)			900
	後期				その他 面接		個別学力検査等		200		100	450	350	200			1300
電気電子工学科	前期	国 地歴 公民	1 1 2	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数I・数A、数II・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物		大学入学共通テスト	200		100	200	200	200 (注)3(1)			900
	後期				その他 面接		個別学力検査等		200		100	450	350	200			1300
							大学入学共通テスト	200		100	300	300	300	200 (注)3(1)			1100
							個別学力検査等								(注)3(2)		
							計	200		100	300	300	300	200	(注)3(2)		1100
							大学入学共通テスト	200		100	300	300	300	200 (注)3(1)			1100
							個別学力検査等								(注)3(2)		
							計	200		100	300	300	300	200	(注)3(2)		1100

学部・学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	日程	教科科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語/小論文	面接	配点 合計	
工学部	前期	1 1 2 2 1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 物基・物、化基・化の2つの科目群のうちから1つ選択 (出願時に選択)		大学入学共通テスト 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200		900
								200		250	150				400	
	後期			その他	面接		200	100	100	450	300	200			1300	
	後期			その他	面接		200	100	100	300	300	200			1100	
工学部	前期	1 1 2 2 1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 物基・物、化基・化の2つの科目群のうちから1つ選択 (出願時に選択)		大学入学共通テスト 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200			900
								200		250	150				400	
	後期			その他	面接		200	100	100	450	350	200			1300	
	後期			その他	面接		200	100	100	300	300	200			1100	
工学部	前期	1 1 2 2 1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 化基・化		大学入学共通テスト 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200			900
								200		250	150				400	
	後期			その他	面接		200	100	100	450	350	200			1300	
	後期			その他	面接		200	100	100	300	300	200			1100	

学部・学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	日程	教科科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語/小論文	実技	面接	配点 合計
工学部	前期	1 1 2 2 1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	数 理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 物基・物、化基・化の2つの科目群のうちから1つ選択 (出願時に選択)	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200 (注3(1))			900
	後期			その他 面接		個別学力検査等					250	150				400
						計		200	100	450	350	200				1300
						大学入学共通テスト	200	100	300	300	300	200 (注3(1))				1100
						個別学力検査等									(注3(2))	
						計		200	100	300	300	200			(注3(2))	1100

(注) 1 大学入学共通テストの利用教科・科目等
 (1) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 2 個別学力検査等

数 学
 (1) 前期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
 (2) 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

物 理
 (3) 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化 学
 (4) 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

その他
 (5) 前期日程の個別学力検査で「物理」を受験する方は、機械工学科、メカトロニクス工学科、電気電子工学科、コンピュータ工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科の間で、また、「化学」を受験する方は、コンピュータ理工学科、先端材料理工学科、土木環境工学科、土木環境工学科、土木環境工学科、応用化学科、先端材料理工学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。
 (6) 後期日程においては、全学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等
 (1) 大学入学共通テストにおける英語のリスニングの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングを160点満点に、リスニングを40点満点に換算します。
 (2) 面接については、複数の面接員により行います。合格者の判定は、面接員の少なくとも1人が面接判定基準を満たしていると判定した受験生の中から、大学入学共通テストの成績に基づき合格者を決定します。
 4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

【本学の令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。】

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

(1) 本学のアドミティションポスターを閲覧するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提携大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
 (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもありますが、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
 (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp

(4) 生命環境学部

学部・学科	日程		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	前期	後期	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
生命工学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報の3科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	大学入学共通テスト	200		50	300	250 (注3(1))	200 (注3(1))			1000	
	個別学力検査等			個別学力検査等							200			200
	その他			その他										
	科目名等			小論文										
	2段階 選抜													
	計			計	200	50	300	250 (注3(1))	200	200				1200
地域食物科学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	大学入学共通テスト	100		100	300	300 (注3(1))	200 (注3(1))			1000	
	個別学力検査等			個別学力検査等									100	100
	その他			その他										
	科目名等			小論文										
	2段階 選抜													
	計			計	100	100	300	300	200	200				1100
環境科学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の4科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	大学入学共通テスト	200		100	200	200 (注3(1))	200			900	
	個別学力検査等			個別学力検査等									200	200
	その他			その他										
	科目名等			小論文										
	2段階 選抜													
	計			計	200	100	200	200	200	200	200			1100
生命環境学部	大学入学共通テストの利用教科・科目名		国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	大学入学共通テスト	200		100	200	200 (注3(1))	200			900	
	個別学力検査等			個別学力検査等										
	その他			その他										
	科目名等			面接										
	2段階 選抜													
	計			計	200	100	200	200	200	200	200			900

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計
生命環境学部	前期	国	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択 現社、偏、政経の4科目のうちから1科目選択 物、化、生、地、基礎を付した科目から1又は2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、物基、化基、地基であり、2科目で1科目とみなす	その他	小論文	大学入学共通テスト	200	*100			*100	200	200	200			800
		地歴	2					教I、教Aの2科目のうちから1科目選択 教II、教B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択 ※地域社会システム学科においては、理科の同一科目名を含む科目の選択を認めます。	200	*100			*100	200	200	200		
生命環境学部	後期	公民	1	地歴、公民、理科の3教科から2科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	200	*100				*100	200	200			800
		理科	2					計	200	*100			*100	200	200	200		
							個別学力検査等											
							計	200	*100				*100	200	200			800

*印の教科については、選択教科を示します。

(注)

- 大学入学共通テストの利用教科・科目等
 - 1) 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目の得点をその成績とします。「第1解答科目」の得点をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
 - 2) 個別学力検査等
- 個別学力検査等
 - 1) 前期日程における個別学力検査等の小論文試験では、総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。出題のねらいと出題パターンは、以下のとおりです。
 - 1) 文章理解力・論述力の評価(文章読解型)：課題となる文章(英文やデータ資料等を含む場合がある)が提示されます。この課題文の内容理解に基づいて、設問の求めるところを考察し、論述をしていただきます。
 - 2) 図表データの分析力・表現力の評価(資料データ分析型)：図・表を含むデータ資料(英文や英語表記を含む場合がある)が提示されます。そのデータを分析、または解釈し、特徴や傾向の理解に基づいて、設問の求めに応じた論述や作図をしていただきます。
- 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等
 - 1) 大学入学共通テストにおける英語のリスニングの成績は全学科で利用します。各学科のリーディング(100点満点)・リスニング(100点満点)の配点比率は次のとおりです。

生命工学科	リーディングとリスニングの素点を利用します。
地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科	リーディングを150点満点に、リスニングを50点満点に換算します。

 なお、外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
 - 2) 後期日程においては、面接試験及び大学入学共通テストの成績により選考します。
- 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。
 - 1) 地域食物科学科フライング科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、フライング科学特別コースの志願者は、地域食物科学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。
 - 2) 地域社会システム学科観光政策科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

【本学の令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。】

【入学試験に過去問題を使用することに関する注】

- 1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- 2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することもありますが、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- 3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学のURLについては、次のURLにて公表されています。http://www.nyushikakomon.jp

実技検査の内容（学校教育課程）

（前期日程・後期日程）

課程・コース	実技検査の内容・注意事項
学校教育課程 芸術身体教育コース	以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。
	<p>音楽実技を選択する方 下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.28～No.48より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。 （暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p>Ⅱ 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲、又は声楽曲を1曲演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合 出願時に演奏曲の楽譜（左上に「ピアノ」と明記）を同封すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 原語で演奏すること。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏部を伴った楽譜（左上に「声楽」と明記）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 電子オルガン（YAMAHA、ELS-01C バイタライズユニット Ver.up 済み） 以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（左上に曲名及び楽器名を明記）を同封すること。</p> <p>③ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p>美術実技を選択する方 造形表現力の検査（形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。</p> <p>2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>
<p>体育実技を選択する方 運動技能に関する検査（運動を行うのにふさわしい服装を準備すること。更衣室の利用可。）</p> <p>「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」を提出すること。</p>	

2 段階選抜について

志願者数が募集人員の所定の倍率を超えた場合は、第1段階選抜を行い、第1段階合格者に対して、個別学力検査等を実施します。

【医学部医学科後期日程】

大学入学共通テストの成績と調査書の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

なお、大学入学共通テストの配点は、下記のとおりとし、「調査書」は総合判定の資料とします。

国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計
200	100		200	200	200	900

5 『学校推薦型選抜』、『総合型選抜』の選抜方法等

(1) 教育学部

『(A)学校推薦型選抜Ⅰ 教科別推薦入試』

実施課程名	学校教育課程			
募集人員	コース・系	募集人員	対象となる志願者の範囲と選抜方法	
	幼小発達教育コース	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、小論文・面接を課す	
	障害児教育コース	4人	全体の学習成績の状況が3.5以上、小論文・面接を課す	
	言語教育コース	国語教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ国語の学習成績の状況が4.0以上、小論文・面接を課す
		英語教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ外国語の学習成績の状況が4.0以上、小論文・面接を課す
	生活社会教育コース	社会科教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ地理歴史及び公民のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上、小論文・面接を課す
		家政教育系	3人	全体の学習成績の状況が3.5以上、小論文・面接を課す
	科学教育コース	数学教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ数学の学習成績の状況が4.0以上、かつ数学Ⅲを履修済み又は履修中であること、小論文・面接を課す
		理科教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ数学及び理科のそれぞれの学習成績の状況が4.0以上、小論文・面接を課す
		技術教育系	3人	全体の学習成績の状況が3.5以上、小論文・面接を課す
	芸術身体教育コース	音楽教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、実技検査（別紙2 P52参照）・面接を課す
		美術教育系	2人	全体の学習成績の状況が3.5以上、実技検査（別紙2 P52参照）・面接を課す
		保健体育系	4人	全体の学習成績の状況が3.5以上、実技検査（別紙2 P52参照）・面接を課す
	出願要件	<p>次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている方とします。1校から推薦できる人員は、幼小発達教育コース及び障害児教育コースはコースごとに1人とし、言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースは系ごとに1人とします。</p> <p>(1) 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を令和3年度中に卒業した方及び卒業見込みの方</p> <p>(2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の学習成績の状況等が上記の範囲の方</p> <p>(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる方</p>		
	選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」及び「活動実績報告書」（芸術身体教育コース保健体育系の志願者のみ）の記載内容、本学が実施する面接、小論文、実技検査等の結果を総合して判定し、合格者を決定します。</p>		
提出を要する書類の活用方法	<p>「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」及び「活動実績報告書（芸術身体教育コース保健体育系の志願者のみ）」は、記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料とします。</p>			

コース・系	実技検査の内容・注意事項
芸術身体教育コース 音楽教育系	<p>音楽実技 下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験） 下記のA、B、C、Dを受験すること。 A 旋律聴音 1題（12～16小節） B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 C コンコーネ50番 No.28～No.48より当日1、2曲指定する。 移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。 D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。 （暗譜すること。繰り返しは省略すること。） （注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p>Ⅱ 選択課題（演奏実技） 任意の器楽曲、又は声楽曲を演奏すること。 1 ピアノで受験の場合 ① 1曲又は数曲を演奏すること。（10分程度） ② 出願時に演奏曲の楽譜（左上に「ピアノ」と明記）を同封すること。 2 声楽で受験の場合 ① 日本歌曲を含む2曲を演奏すること。外国語は原語で演奏すること。 ② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏部を伴った楽譜（左上に「声楽」と明記）を同封すること。 3 ピアノ以外の楽器で受験の場合 ① 1曲又は数曲を演奏すること（5分～10分程度）。 ② 電子オルガン（YAMAHA、ELS-01C バイタライズユニット Ver.up 済み） 以外の楽器は各自持参すること。 なお、自動伴奏機能は使わないこと。 ③ 出願時に演奏曲の楽譜（左上に曲名及び楽器名を明記）を同封すること。 ④ 伴奏は無しとする。 （注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
芸術身体体育コース 美術教育系	<p>美術実技 造形表現力の検査（形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。） （注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、 パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。 2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>
芸術身体教育コース 保健体育系	<p>体育実技 高等学校在籍時の各種大会参加等の活動実績について、「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」を用いて実技検査とする。</p>

教育学部

『(B)学校推薦型選抜Ⅰ 専門・総合学科推薦入試』

①生活社会教育コース

実施課程名	学校教育課程		
募集人員	コース・系	募集人員	対象となる志願者の範囲と選抜方法
	生活社会教育コース 家政教育系	1人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ「家庭」に関する科目の学習成績の状況が4.0以上、小論文・面接を課す
出願要件	<p>全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）の家庭に関連する学科等、又は全国の国公立高等学校の総合学科において家庭に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方で、次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている方とします。1校から推薦できる人員は1人とします。</p> <p>(1) 高等学校を令和3年度中に卒業した方及び卒業見込みの方 (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の学習成績の状況等が上記の範囲の方 (3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方 (4) <u>合格した場合は、入学することを確約できる方</u></p>		
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「学校長推薦書」の記載内容、本学が実施する小論文、面接の結果を総合して判定し、合格者を決定します。</p>		
提出を要する書類の活用方法	<p>「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「学校長推薦書」は、記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料とします。</p>		

②科学教育コース

実施課程名	学校教育課程		
募集人員	コース・系	募集人員	対象となる志願者の範囲と選抜方法
	科学教育コース 技術教育系	1人	全体の学習成績の状況が3.5以上、かつ「農業」、「工業」又は「情報」に関する科目の学習成績の状況が4.0以上、口頭試問を課す
出願要件	<p>全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）の農業、工業、情報に関連する学科、又は全国の国公立高等学校の総合学科において農業、工業、情報に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方で、次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている方とします。1校から推薦できる人員は1人とします。</p> <p>(1) 高等学校を令和3年度中に卒業した方及び卒業見込みの方 (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の学習成績の状況等が上記の範囲の方 (3) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方 (4) <u>合格した場合は、入学することを確約できる方</u></p>		
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「学校長推薦書」の記載内容、本学が実施する口頭試問の結果を総合して判定し、合格者を決定します。</p>		
提出を要する書類の活用方法	<p>「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「学校長推薦書」は、記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料とします。</p>		

『(C)学校推薦型選抜Ⅰ 山梨県の小学校教員志望者推薦入試』

実施課程名	学校教育課程		
募集人員	コース・系等	募集人員	対象となる志願者の範囲と選抜方法
	山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	12人	全体の学習成績の状況が4.0以上、小論文・面接を課す
出願要件	<p>次の(1)~(4)の条件をすべて満たしている方とします。1校から推薦できる人員は2人までとします。</p> <p>(1) 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を令和3年度中に卒業した方及び卒業見込みの方</p> <p>(2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の学習成績の状況等が上記の範囲の方</p> <p>(3) 本学部の学生となるのに十分な適性と山梨県的小学校教員になりたいという強い意欲をもった方で、高等学校長が責任をもって推薦できる方</p> <p>(4) <u>合格した場合は、入学することを確約できる方</u></p>		
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「学校長推薦書」の記載内容、本学が実施する面接、小論文の結果を総合して判定し、合格者を決定します。</p>		
提出を要する書類の活用方法	<p>人物を総合的に理解し、評価するため、面接の基礎資料とし、以下のとおり活用します。</p> <p>(1) 調査書 高等学校での総合的な活動の様子を知る。</p> <p>(2) 多面的・総合的な評価のための申告書 志望理由やアドミッションポリシーの理解、大学で学びたいことや教師力を高める展望を確認する。</p> <p>(3) 学校長推薦書 人柄や特に個人的な特色を示す事項の有無を知る。</p>		

(2) 医学部

『学校推薦型選抜Ⅰ』

実施学科名	看護学科
募集人員	25人（欠員が生じた場合は、一般選抜前期日程で補充します。）
出願要件	<p>高等学校（文部科学大臣により高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設を含む。）若しくは中等教育学校を令和2年3月及び令和3年3月に卒業した方（平成31年4月から令和3年3月までの学年の途中において卒業した方を含む。）並びに令和4年3月高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの方（単位制高校・在外教育施設等で、卒業が3月でない場合に限り、令和3年度に卒業した方を含む。）で、次の要件を満たし、学校長が責任をもって推薦できる方とします。</p> <p>ア 本学志望の動機が明確で、将来看護学の分野で社会に貢献する意欲をもっている方</p> <p>イ 高等学校若しくは中等教育学校後期課程における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である方</p> <p>ウ 課外活動等にも積極的に参加して、充実した高等学校若しくは中等教育学校生活を送った方</p> <p>エ 合格した場合は入学することを確約できる方</p>
選抜方法等	小論文及び面接を課し、この評価及び「学校長推薦書」、「調査書及び多面的・総合的な評価のための申告書」を総合的にみて、入学者を選抜します。
提出を要する書類の活用方法	調査書など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願資料のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選抜により将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。

『学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）』

実施学科名	医学科
募集人員	地域枠 35人以内（欠員が生じた場合は、一般選抜後期日程で補充します。）
出願要件	<p>山梨県内の高等学校を令和3年3月に卒業した方（令和2年4月から令和3年3月までの学年の途中において卒業した方を含む。）並びに令和4年3月高等学校を卒業見込みの方（単位制学校で、卒業が3月でない場合に限り、令和3年度に卒業した方を含む。）で、次の要件を全て満たし、高等学校長が責任をもって推薦できる方とします。</p> <p>下記要件を1つでも満たさない方は、出願できません。</p> <p>ア 医師免許取得後、初期臨床研修を含む一定期間山梨県内の医療機関（本学医学部附属病院を含む。）において医師の業務に従事することを確約できる方 ※一定期間とは、山梨県医師修学資金貸与制度の規定に準じる。</p> <p>イ 山梨県医師修学資金貸与制度の利用を確約できる方（山梨県ホームページ参照*） ※山梨県医師修学資金を一括返済しても、山梨県内で医師として業務に従事する期間は短縮されません。</p> <p>ウ 高等学校における調査書の学習成績概評が「㊤」又は「A」である方 ※「㊤」とは学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる方です。この場合、高等学校長は調査書の「備考」の欄にその理由を明示しなければなりません。</p> <p>エ 合格した場合は入学することを確約できる方</p> <p>なお、令和4年度大学入学共通テストの本学が指定した教科・科目の受験が必要です。 ※配点は別紙2のとおり</p>
選抜方法等	<p>第1段階選抜</p> <p>学校長から提出された推薦書、調査書及び多面的・総合的な評価のための申告書並びに大学入学共通テストの成績により、第1段階選抜の合格者を決定します。なお、第1段階選抜の合格者数は、募集人員の約1.5倍とします。ただし、志願者が募集人員の約1.5倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。</p>
	<p>最終選抜</p> <p>第1段階選抜の合格者に対して、面接を課し、この評価及び学校長推薦書、調査書及び多面的・総合的な評価のための申告書並びに大学入学共通テストの成績を総合評価して、最終選抜の合格者を決定します。</p>
	<p>令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目</p> <p>国語（国） 地歴（世B、日B、地理B、倫・政経から1） 公民 数（数Ⅰ・数A）（数Ⅱ・数B） 理（物、化、生から2） 外（英） 〔5教科7科目〕 （注） 1 「外国語」の「英語」は、リスニングの成績も利用します。 2 「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。</p>
提出を要する書類の活用方法	<p>調査書など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願資料のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。</p>
その他	<p>*山梨県ホームページ【医師修学資金について】 https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html</p>

『学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）』の配点等

医学部医学科

学部・学科 選抜	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	第1段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
医学部 医学科	国	1	国世B、日B、地理B、【倫・政経】の4科目のうちから1科目選択	その他 面接		約1.5倍	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	200			900
	地歴 公民 数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生の3科目のうちから2科目選択					200	100	200	200	200	200			
	理 外	2 1	英				計	200	100	200	200	200	200			900

(注)

1 入学者の選抜は、第1段階選抜及び最終選抜により行います。

① 第1段階選抜

「学校長推薦書」、「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」並びに大学入学共通テストの成績により第1段階選抜の合格者を決定します。
 なお、第1段階選抜の合格者数は、募集人員の約1.5倍とします。

ただし、志願者が募集人員の約1.5倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

② 最終選抜

第1段階選抜の合格者に対して、面接を課し、この評価及び「学校長推薦書」、「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」並びに大学入学共通テストの成績を総合評価して、入学者を選抜します。

なお、面接では「学校長推薦書」、「調査書」及び「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を確認補完するとともに、人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者になるにふさわしい適性をみます。さらに、将来山梨県内（本学を含む）で診療に従事する理由や意欲等もみます。

2 大学入学共通テストの配点

第1段階選抜とも大学入学共通テストの配点上記表のとおりです。

(1) 外国語の英語は、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点数を200点満点として利用します。

(3) 工学部

『総合型選抜Ⅰ』

①コンピュータ理工学科

実施学科名	コンピュータ理工学科
募集人員	8人
出願要件	次の(1)~(4)の条件をすべて満たしている方。大学入学共通テストの受験は必要としません。 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を令和2年4月から令和4年3月までに卒業した方又は卒業見込みの方 (2) 高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上、若しくは数学の学習成績の状況が4.2以上である方 (3) 本学科の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方 ただし、高等学校の普通科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、数Ⅱ・数B、数Ⅲ、物理を履修していることが望ましい。また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、これらの科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい。
選抜方法等	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」の各内容、本学が実施する小論文及び面接の各成績の結果を総合して判定し、合格者を決定します。小論文には数学、理科（物理）、外国語（英語）の基礎的学力を問う設問を含みます。面接は回答の明確さ・論理の正しさ・意欲・独自性を重視します。
提出を要する書類の活用方法	提出を要する書類の活用方法は、アドミッションポリシーで掲げる「試験区分別の入学選抜の基本方針」に則り活用します。

②応用化学科

実施学科名	応用化学科
募集人員	12人
出願要件	次の(1)~(5)の条件をすべて満たしている方。大学入学共通テストの受験は必要としません。 (1) 高等学校を令和4年3月卒業見込みの方 (2) 学業成績が優秀で、数学の学習成績の状況が3.8以上である方 (3) 化学基礎、化学ならびに物理基礎を履修、あるいはそれに相当する科目を履修している方、もしくは履修する見込みの方 (4) 本学科の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる方 ただし、高等学校の普通科に在籍している志願者については、数Ⅱ・数B、数Ⅲ、物理を履修していることが望ましい。また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科に在籍している志願者については、これらの科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい。
選抜方法等	「調査書」、面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問による結果を総合的に判定し、合格者を決定します。「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。面接では目的意識・勉学意欲、論理的思考力などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に対する強い興味と特に化学を専攻する希望を持つかを評価します。化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問により、化学に関する基礎知識ならびに化学実験に関する知識・技術や興味を評価します。 【化学に関する口頭試問・化学グランプリ成績】 化学に関する基礎知識について、次の二通りにより評価します。 ・化学に関する口頭試問 ・化学グランプリの一次選考の成績 志願者は、この二つの評価方法のどちらか一つまたは両方を出願時に選択します。両方を希望する場合には、選考希望順を選択してください。化学グランプリの成績評価を希望する場合には、その一次選考の結果の提出が必要です。 【化学実験に関する試問】 化学に関する基本的な器具やその使用法、実験の手順など、化学実験に関する知識・技能や興味を評価します。
提出を要する書類の活用方法	提出を要する書類の活用方法は、アドミッションポリシーで掲げる「試験区分別の入学選抜の基本方針」に則り活用します。
その他	2020年度に実施された化学グランプリ2020および2021年度に実施される化学グランプリ2021の一次選考では本人確認が行われなかったため、当該試験の結果は利用できません。

工学部

『総合型選抜Ⅱ』

実施学科名	機械工学科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科					
募集人員	機械工学科 電気電子工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科	17人 17人 17人 11人	メカトロニクス工学科 コンピュータ理工学科	17人 12人		
出願要件	<p>次の(1)～(5)の条件をすべて満たしている方。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を令和2年4月から令和4年3月までに卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 令和4年度大学入学共通テストのうち各学科が指定した教科・科目を受験する方</p> <p>(3) 学業成績に関する条件 機械工学科、メカトロニクス工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科については、高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上、若しくは数学の学習成績の状況が4.0以上である方 応用化学科については、在籍する（した）高等学校から調査書が提出できる方</p> <p>(4) 本学部の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲を持った方 ただし、高等学校の普通科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、別表（P59）に示す○印を付した科目を履修していることが望ましい。 また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、志望学科ごとに別表に示す○印を付した科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい。</p> <p>(5) 合格した場合は、入学することを確約できる方</p>					
選抜方法等	学科によって小論文や面接、出願書類等によって第1段階選抜を実施し、第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数（各学科で課される教科・科目はP60～61を参照）を考慮して、最終合格者を決定します。また、小論文及び面接においては、数学・理科・外国語の素養に関する試問を含むこともあります。					
	機械工学科	出願書類と面接による第1段階選抜を実施します。そして第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。				
	メカトロニクス工学科	出願書類・小論文・面接による第1段階選抜を実施します。そして第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。				
	電気電子工学科	出願書類・小論文・面接による第1段階選抜を実施します。第1段階選抜合格者のうち、大学入学共通テストの点数が基礎学力判定基準を満たす者の中から、第1段階選抜の点数により最終合格者を決定します。				
	コンピュータ理工学科	出願書類によって第1段階選抜を実施します。第1段階選抜を通過した者の中から、大学入学共通テストの点数により最終合格者を決定します。				
	土木環境工学科	出願書類・小論文・面接による第1段階選抜を実施します。そして第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。				
	応用化学科	「調査書」と面接による第1段階選抜を実施します。そして第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数と「多面的・総合的な評価のための申告書」を考慮して最終合格者を決定します。				
	先端材料理工学科	出願書類・小論文・面接による第1段階選抜を実施します。そして、第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。				
提出を要する書類の活用方法	提出を要する書類の活用方法は、アドミッションポリシーで掲げる「試験区分別の入学者選抜の基本方針」に則り活用します。					
その他	出願できるのは1学科のみです。					

別表 出願要件(4)の履修していることが望ましい科目

学 科	教 科 科 目	数 学		理 科			
		数Ⅱ・数B	数Ⅲ	物理基礎	物理	化学基礎	化学
機 械 工 学 科		○	○	○	○		
メカトロニクス工学科		○	○	○	○		
電 気 電 子 工 学 科		○	○	○	○		
コンピュータ理工学科		○	○	○	○		
土 木 環 境 工 学 科		○	○	○	○	○	
応 用 化 学 科		○	○	○	○	○	○
先 端 材 料 理 工 学 科		○	○	○	○	○	○

『総合型選抜』の配点等

(I) 工学部

学部・学科	選抜	選抜方法	科目数		科目名等		大学入学共通テストの科目・科目名										個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										他	配点合計
			国	地歴	国	地歴	国	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	志願者評価書	面接用事前レポート											
機械工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類と面接による第1段階選抜を実施し、第1段階選抜合格者のうちから、大人数を考慮して最終合格者を決定します。	1	1	国	A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択	150	150	50	150	150	150	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600		
			2	2	国	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
メカトロニクス工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類・小論文・面接による第1段階選抜を実施し、第1段階選抜合格者のうちから、大人数を考慮して最終合格者を決定します。	1	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択	200	200	100	200	200	200	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600		
			2	2	国	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
電気電子工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類・小論文および面接による第1段階選抜を実施し、第1段階選抜合格者のうちから、大人数を考慮して最終合格者を決定します。	1	1	国	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
			2	2	国	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
工学部	総合型選抜Ⅰ	提出書類および第1段階選抜の結果により最終合格者を決定します。	1	1	国	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
			2	2	国	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
工学部	総合型選抜Ⅱ	提出書類によって第1段階選抜を実施し、第1段階選抜合格者のうちから、大人数を考慮して最終合格者を決定します。	1	1	数	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
			2	2	理	物、化、生のうちから2科目選択	200	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	
工学部	総合型選抜Ⅱ	提出書類によって第1段階選抜を実施し、第1段階選抜合格者のうちから、大人数を考慮して最終合格者を決定します。	1	1	英	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
			2	2	言	教I・教A、教II・教B	200	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200

学部・学科	選抜	選抜方法	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																		
			教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	志願者評価書	面接用事前レポート	その他	配点合計	
土木環境工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類・小論文・面接による個別学力検査を実施し、その中で第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	国	1	国・世・日 A、B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 物、化、英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	小論文、面接	大学入学共通テスト	200	100	300	300	200	200	300	200	300	150	50	300	50	50	150	50	1100
			地歴	1		公民	2	理科	2	外国語	2	小論文	2	面接	2	調査書	2	多面的・総合的な評価のための申告書	2	志願者評価書	2	面接用事前レポート	2	その他	500
応用化学科	総合型選抜Ⅰ	提出書類・面接による個別学力検査にて合格者を決定します。	理	1	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 物 英	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	300	300	200	200	300	150	50	300	50	300	50	150	50	1600	
			数	2		公民	2	理科	2	外国語	2	小論文	2	面接	2	調査書	2	多面的・総合的な評価のための申告書	2	志願者評価書	2	面接用事前レポート	2	その他	120
工学部	総合型選抜Ⅱ	調査書と面接による第1段階選抜を実施し、その中で第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	理	1	数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 物 英	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	220
			数	2		公民	2	理科	2	外国語	2	小論文	2	面接	2	調査書	2	多面的・総合的な評価のための申告書	2	志願者評価書	2	面接用事前レポート	2	その他	200
先端材料理工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類・面接による第1段階選抜を実施し、その中で第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	国	1	国・世・日 A、B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 物、化、英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	小論文、面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900
			地歴	1		公民	2	理科	2	外国語	2	小論文	2	面接	2	調査書	2	多面的・総合的な評価のための申告書	2	志願者評価書	2	面接用事前レポート	2	その他	100

(注) 1 大学入学共通テストの利用教科・科目等
2 大学入学共通テストの「地歴」は全教科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングを160点満点に、リスニングを40点満点に換算し、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等
4 「調査書」や「多面的・総合的な評価のための申告書」は面接時の参考として利用します。
5 「面接」は面接時の参考として利用します。
6 (1) 「調査書」や「多面的・総合的な評価のための申告書」および「志願者評価書」を基に面接を実施します。
7 (2) 電気電子工学科では、第1段階選抜を重視し、大学入学共通テストの4科目をそれぞれ50点満点に換算し、受験した科目のうち得点のより高い2科目を大学側で採用します。(志願者の選択は要しません。)これに「化学」の得点を加え合計200点満点に換算した得点を利用します。
8 「多面的・総合的な評価のための申告書」および「志願者評価書」は面接時の参考として利用します。但し2020年度および2021年度に開催された化学グランプリの成績は利用できません。
9 面接・面接・面接(面接)あるいは化学グランプリの一次選考の成績(その他)で評価します。合格基準を満たしていることと判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。
10 面接・面接・面接(面接)あるいは化学グランプリの一次選考の成績(その他)で評価します。合格基準を満たしていることと判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。
11 面接・面接・面接(面接)あるいは化学グランプリの一次選考の成績(その他)で評価します。合格基準を満たしていることと判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。
12 面接・面接・面接(面接)あるいは化学グランプリの一次選考の成績(その他)で評価します。合格基準を満たしていることと判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。
13 「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていることと判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。
14 「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていることと判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。

【入試試験に過去問題を使用する】に該当する場合は、必要と認められる範囲で「入試過去問題活用宣言」に記入していただく必要があります。また、「入試過去問題」を使用する際は、そのまゝ使用することも、一部改変することもあります。詳しくは、<http://www.wishike.com/html>をご覧ください。

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

【入試過去問題活用宣言】については、次のURLにて公表されています。http://www.wishike.com/html

(4) 生命環境学部

『総合型選抜Ⅱ』

実施学科名	生命工学科 地域食物科学科 環境科学科 地域社会システム学科
募集人員	生命工学科 3人 地域食物科学科 2人 環境科学科 3人 地域社会システム学科 3人
出願要件	次の(1)~(4)の全ての要件を満たしている方 (1) 国内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した方及び令和4年3月卒業見込みの方 (2) 令和4年度大学入学共通テストにおいて、各学科の指定する教科・科目を受験する方 (3) 調査書全体の学習成績の状況が3年次1学期あるいは前期終了時点で3.8以上の方 (4) <u>合格した場合には、入学が確約できる方</u>
選抜方法等	出願書類の内容、面接（口頭試問を含む）、大学入学共通テストの成績を総合して判定します。 ※配点は、別紙4のとおり
提出を要する書類の活用方法	アドミッションポリシーで掲げる「試験区分別の入学者選抜の基本方針」に則り活用します。
その他	出願できるのは、1学科のみです。

『総合型選抜Ⅱ』の配点等

(2) 生命環境学部

学部・学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		科目名等		2段階選抜	個別学力検査等の配点等									
	選抜	科目数	教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接
生命工学科	総合型選抜Ⅱ	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	900
		2	地歴公民	数I・数Aの2科目のうちから1科目選択 数II・数B、簿・情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				200	100	200	200	200	200	200	
地域食物科学科	総合型選抜Ⅱ	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	900
		2	地歴公民	数I・数Aの2科目のうちから1科目選択 数II・数B、簿・情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				200	100	200	200	200	200	200	
環境科学科	総合型選抜Ⅱ	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	900
		2	地歴公民	数I・数Aの2科目のうちから1科目選択 数II・数B、簿・情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				200	100	200	200	200	200	200	
地域社会システム学科	総合型選抜Ⅱ	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	800
		2	地歴公民	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択 物、化、生、地、基礎を付した科目から、1又は2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、物基、化基、生基、地基であり、2科目で1科目とみなす				200	100	200	200	200	200	200	
生命工学科	総合型選抜Ⅱ	1	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの4科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	200	800
		2	地歴公民	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択 物、化、生、地、基礎を付した科目から、1又は2科目選択 ただし、基礎を付した科目とは、物基、化基、生基、地基であり、2科目で1科目とみなす				200	100	200	200	200	200	200	

(注) 1 大学入学共通テストの利用教科・科目等
 (1) 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「公民」のうちから1科目以上受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
 (2) 地域社会システム学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「公民」から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
 2 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等
 (1) 大学入学共通テストの成績は全学科で利用します。各学科のリーディング（100点満点）の配点比率は次のとおりです。
 生命工学科ではリーディングとリスニングの素点を利用します。
 地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科ではリーディングを150点満点に、リスニングを50点満点に換算します。
 なお、外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
 (2) *印の教科については、選択教科を示します。
 (3) 面接試験及び大学入学共通テストの成績により選考します。

- 3 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ、選考の対象となります。
- 4 「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」の扱いについては、アドミッションポリシーを参照してください。

【本学の令和4年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。】

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

- (1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。 <http://www.nyushikakomon.jp>

6 私費外国人留学生入試

教育学部、工学部、生命環境学部

- ① 大学入学共通テストを免除し、私費外国人留学生のための入学者選抜を実施します。詳細は、12月1日（水）までに発表予定の「令和4年度山梨大学私費外国人留学生入試募集要項」を参照してください。
- ② 選抜に当たっては、独立行政法人日本学生支援機構が令和3年6月及び11月に実施する「2021年度日本留学試験」の成績を利用しますので、必ず受験してください。利用科目等については、下表を参照してください。
- ③ 英語科目として TOEFL 又は TOEIC の成績を利用しますので、必ず受験してください。ただし、2020年1月以降に受験したものに限りません。

- ・ TOEFL-iBT (Institutional Score Report (公式スコアレポート)、Test Taker Score Report (受験者用控えスコアレポート))
- ・ The revised TOEFL Paper-delivered Test (test taker score report)
- ・ TOEIC Listening & Reading Official Score Certificate (公式認定書)
- ・ TOEIC Listening & Reading International Program (IP) Official Score Report

・日本留学試験の利用科目等

学部・学科等名		利用科目名	出題言語
教育学部	学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	①日本語②総合科目③数学（コース1）	日本語
	学校教育課程 生活社会教育コース	①日本語②総合科目③数学（コース1）④理科（物理・化学・生物から2科目選択）から日本語を含む3科目を選択	
	学校教育課程 科学教育コース	①日本語②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
工学部	機械工学科	①日本語②理科（物理・化学）③数学（コース2）	日本語
	メカトロニクス工学科	①日本語②理科（物理必須、化学・生物から1科目選択、合計2科目）③数学（コース2）	
	電気電子工学科	①日本語②理科（物理必須、化学・生物から1科目選択、合計2科目）③数学（コース2）	
	コンピュータ理工学科	①日本語②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
	土木環境工学科	①日本語②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
	応用化学科	①日本語②理科（物理・化学）③数学（コース2）	
	先端材料理工学科	①日本語②理科（物理・化学）③数学（コース2）	
生命環境学部	生命工学科	①日本語②理科（化学必須、物理・生物から1科目選択、合計2科目）③数学（コース2）	日本語
	地域食物科学科	①日本語②理科（物理、化学、生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
	環境科学科	①日本語②理科（物理、化学、生物から2科目選択） ③数学（コース2）	
	地域社会システム学科	①日本語②総合科目③数学（コース1）	

IV 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

1 相談の時期と方法

病気やけが、障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、各募集要項公表以降、出願の前に教学支援部入試課に連絡の上、学長あての相談申請書（次の①～⑤の事項を記したもの（書式は任意））及び⑥、⑦を、各入試における申請期日（各募集要項を参照）までに教学支援部入試課へ提出してください。

なお、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 選抜試験名、志望学部、学科、課程・コース、氏名、生年月日、出身学校
- ② 受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
- ③ 高等学校在学中にとられていた特別措置
- ④ 日常生活の状況
- ⑤ 連絡先（現住所、電話番号等）
- ⑥ 医師の診断書等、病気やけが、障がい等の状況がわかる文書又はそのコピー
- ⑦ 大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」のある方はそのコピー

※受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする場合は必ず申し出てください。

※申請後に本学へ出願しないこととなった場合、又は出願後に受験を取り止めた場合には必ず連絡願います。

2 相談の期限以降に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限以降に生じた不慮の事故等により、受験上又は修学上の配慮を希望する方は、速やかに教学支援部入試課に連絡してください。

3 連絡先

山梨大学教学支援部入試課
〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37
電話：055-220-8046

V 募集要項の公表方法と時期

山梨大学では、Web 出願を実施しています。募集要項（願書）は配布していませんので、本学ホームページよりダウンロード（PDF 形式）してください。なお、各学生募集要項の発表予定時期は以下のとおりです。

- 学校推薦型選抜学生募集要項・・・・・・・・・・ 8月上旬以降
- 総合型選抜学生募集要項・・・・・・・・・・ 8月上旬以降
- 一般選抜学生募集要項・・・・・・・・・・ 11月上旬頃
- 私費外国人留学生入試募集要項・・・・・・・・・・ 12月上旬頃

VI 入試情報サイト

山梨大学ホームページ	https://www.yamanashi.ac.jp
募集要項掲載ページ	https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291
Web 出願サイト	https://syutugan.yamanashi.ac.jp

Ⅶ 「大学案内」等の請求方法

次の(1)～(3)の方法で請求してください。

山梨大学のホームページからテレメール、モバっちょを利用することができます。

山梨大学ホームページ>入試情報>資料請求

インターネットによる資料請求 【取扱資料：大学案内、選抜要項】

- (1) テレメールで請求する方法
- (2) モバっちょで請求する方法

山梨大学から請求する方法 【取扱資料：大学案内、選抜要項】

(3) 本学窓口にて入手する

- ・ 総合案内所（本学北側正門前）／土・日・祝日も対応
- ・ 入試課窓口（総合研究棟2階）／月～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（祝日、夏季休業、年末年始等を除く）

「請求に関する問い合わせ先」

教学支援部入試課 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

TEL：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。